

達生堂

社会医療法人達生堂 城西病院

透析センターがリニューアル

透析センター長に神永医師を迎え、体制も新たに

城西病院透析センターは、透析のシステムを一新、センター長に神永医師を迎え、患者さまにより安心・安全な透析を行う環境を整えるとともに、災害時にも透析を続けることができる体制を整えました。

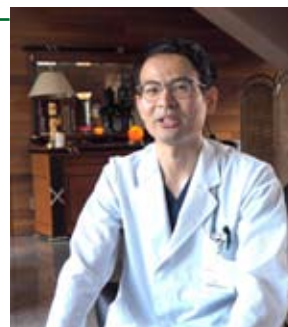
透析センターは、2014年5月にバリアフリーの施設としてオープン。ベッド数30床、うち2床が感染症や重症の患者さまに対応できる個室となっています。



個室以外の28床については血液中のより大きな毒素物質を除去できるオンラインHDF（血液透析濾過）を導入していましたが、今回のリニューアルで、オンラインHDFを30床すべてに導入。患者さまの状況をより詳細に把握できるモニタリング装置を取り入れ、透析中の患者さまの変化をいち早く把握できる環境となり、より透析中の安心・安全を確保することができました。

また、今回の新システムで、機械室を震度6にも耐えることができる環境にし、システムや給水なども強化して、大災害時も透析が継続できるようにするなど、災害にも強いシステムとなりました。

「患者さまが安心して受診できる雰囲気を作っていきたい」と話す神永センター長。2023年に非常勤として城西病院に勤務。2025年1月16日に常勤となり、透析センター長に就任しました。



神永 洋彰
腎臓専門医・透析専門医・認定内科医

栃木県出身で、秋田大学卒業後に地元に戻り、自治医科大学附属病院で研修や研究、臨床を重ねてきました。趣味はプチ旅行、最近は北関東の自然に癒されています。腎臓専門医を目指したのは「ほかの臓器と違い、初期の段階から透析まで、患者さまにいつまでも寄り添うことができるから」と語ります。

「城西病院の透析センターは、スタッフが経験豊富で優秀です。また、総合病院のため設備も充実しており、狭くなった透析血管の拡張術（PTA）や透析用長期留置型カテーテルの挿入なども行うことができ、有事の入院対応もスムーズです。合併症は他科との連携が取りやすく、院内で最適な治療を完結することができる、大変ありがたい環境です」とメリットを紹介します。



個室もオンラインHDFが導入されました



震度6にも耐える機械室



システムを担当する廣瀬猛臨床工学技士長

城西病院

〒307-0001
茨城県結城市結城 10745-24
Tel 0296-33-2111